

令和5年度鹿児島県DPAT研修会実施要領

1 目的

本県においては、大規模災害等の発生時に専門性の高い精神医療活動等を行うため、平成29年度からDPATを整備している。今後も体制整備を推進する必要があることから、災害時の精神科医療の支援を行うことができる人材を育成することを目的に講義及び演習等を行う。

2 主催

鹿児島県

3 共催

鹿児島県DPAT運営委員会

4 後援

公益社団法人鹿児島県医師会

5 日時及び会場

令和6年1月13日(土) 13:00~17:30 県庁大会議室(行政庁舎6階)

令和6年1月14日(日) 10:00~16:00 鹿児島県青少年会館大ホール

6 対象者 ※定員を超えた場合人数調整を行う場合があります。

(1) 受講者 30名程度(精神科病院職員のみ)

ア 精神科医師、看護師、業務調整員(精神保健福祉士、心理士、事務担当者ほか)で構成する3~5名を1チーム単位で申し込むものとする。

イ アのチーム編成が難しい場合は個人参加も可とする。

(2) 聴講者 (その他医療機関職員、保健所職員などが対象)

7 費用等

研修受講料は無料、会場への旅費は各機関負担とする。

8 受講方法

研修1日目については、座学形式の講義のみ実施するため、講義のWeb配信も実施することとし、参集による受講の他、オンラインによる受講も可能とする。

研修2日目については、演習を実施するため、参集による受講とする。

9 研修内容

次頁参照

10 その他

研修を2日間受講した者(1日目のオンライン受講含む。)には、修了証を発行する。

研修内容

【1日目】 令和6年1月13日(土) 13:00~17:30 県庁大会議室(行政庁舎6階) ◎Web配信による聴講も可

時間の目安	区分	講義・演習名
12:30-13:00		受付
13:00-13:05 (5分)		事務連絡
		開会・挨拶
13:05-14:05 (60分)	講義1	災害医療概論 >CSCATTT等
14:05-14:35 (30分)	講義2	DPATの役割 >DPATの活動理念, DPATの役割, 災害時の活動例等
14:35-14:45 (10分)		休憩
14:45-15:25 (40分)	講義3	鹿児島県の災害医療体制について >発災時の指揮命令系統, 鹿児島県DPAT活動マニュアルについて
15:25-15:45 (20分)	講義4	鹿児島県の精神保健医療サービスについて >精神保健医療サービス体制, 地域精神保健活動について
15:45-16:15 (30分)	講義5	DPAT活動における感染症対策
16:15-16:25 (10分)		休憩
16:25-17:25 (60分)	講義6	関係機関との連携
		①災害医療コーディネーターの活動
		②DMAT等の活動
		③医師会の活動
		④日本赤十字救護班等の活動
17:25-17:30 (5分)		④保健所の活動
		まとめ, 事務連絡等

【2日目】 令和6年1月14日(日) 10:00~16:00 県青少年会館大ホール ◎参集して実施

時間の目安	区分	講義・演習名
9:45-10:00		受付
10:00-10:05 (5分)		事務連絡
10:05-11:55 (110分)	講義・演習	ロジスティックス概論及び演習 ①ロジスティック概論(災害診療記録及びJ-SPEED等を含む) ②情報の整理(クロノロ等) ③EMIS及び医療情報
11:55-12:55 (60分)		昼休憩
12:55-13:55 (60分)	演習1 (机上)	災害演習1 派遣準備
13:55-14:05 (10分)		休憩
14:05-15:45 (100分)	演習2 (机上)	災害演習2 地域支援
15:45-16:00 (15分)		まとめ・アンケート
		閉会・挨拶

※ 演習は精神科病院参加者のみ行います。なお、研修内容は変更する場合があります。